



## 3月の風と4月の雨が5月の花を運んでくる

人間万事塞翁が馬、禍福は糾える縄の如し、素晴らしい2022年度に！

校長 佐藤 雅彦

「英国の春はブルーベルとともに」と言われるほどに、この地の方々が愛する青色の可憐な花が、満開となる季節を迎えています。本日の入学式では、小学部32名、中学部28名の新入生を迎え、全校児童生徒282名、学校スタッフ総勢35名で、令和4年度の新たな出発です。

本校のスタッフは、この学校に集う子どもたちが、たくましく飛翔する姿を励みに尽力します。どうか保護者の皆様におかれましては、本校が目指して取り組んでいる教育活動についてのご理解と、これまで以上の力強いご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### (令和4年度第1学期始業式 式辞より)

ロンドン日本人学校の合い言葉「自立・貢献・気品」をキーワードに、こんな人になってほしいという私たちスタッフの願いを3つお話しします。

1つ目は、「進んで自分の力を伸ばす」ことです。自分の良いところは自信をもって発揮してほしいし、苦手なところには負けずにチャレンジしてください。英語が得意な人は皆に教えてあげてほしいし、運動することが得意な人は体育の時間や運動会等の機会に大活躍してください。逆に、算数が苦手な人は理解できるまで諦めずに考えることを粘り強く続けてください。絵を上手に描けない人はスケッチの方法について学び、自分なりに工夫しながら練習を繰り返すのです。自分で考え良い方法を選び、確かな力とする努力を続けてほしいのです。それこそが、『自立』です。

2つ目は、「進んで自分の学級や学校をよくする」ことです。皆さんは自分の学級がどんなクラスになればいいと思っていますか。このロンドン日本人学校がどんな学校になればいいと思っているのでしょうか。その思いを実現するのは他の誰かではありません。「先生や友だちに任せておけば…」なんて考えるのもいけません。自分たちで話し合っってどんどん自分の学級や学

校を良くしていこうとする姿を望みます。そのために決して忘れないでいてほしいことをこれから言います。

「自分がして欲しいことを、周りの人にします。」

「自分がされて嫌な気持ちになることは、絶対に他の人にしません。」

約束してください。これが、『貢献』です。

3つ目は、「進んで自分を表現する」ことです。人は1人では生きていけません。お家の人、友だち、先生、日本人コミュニティや英国人の方々、多くの人と関わり合うことで生活しやすくなるし、勉強や運動もさらにできるようになります。上手に周りの人と関わるには、自分の考えや思いをしっかりと伝えることが重要です。相手や目的に応じて礼儀正しく、キリリとした態度やはっきりとした声で自分を表現するのです。まずは、挨拶です。「笑顔」を加えて挨拶出来れば、挨拶された人も明るく前向きな気持ちになれるでしょうし、あなたのことを助けてあげたいと思うでしょう。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとうございます」の音が響き渡るロンドン日本人学校にしていきましょう。これこそが、『気品』です。

皆さんが進んで取り組む姿を、私たちは応援します。失敗をおそれることなんかありません。チャレンジしてそれでもうまくいかなかったら、その時は先生たちが助けます。この1年間、一緒に頑張りましょう。

最後に、小学部6年生、中学部3年生の皆さんにお話しします。皆さんは学部の最上級生であり、学校の顔、リーダー学年です。本日から皆さんが、各学部のお手本です。下級生の皆さんが心から憧れる集団であってください。

さらに、中学部3年生は受験生でもあります。「自分はどう生きたいのか」、「何をもって社会貢献するのか」、自分の人生を、自ら切り拓いていく2022年度にしましょう。

## 学校教育目標

「自ら学び、心豊かにたくましく  
国際社会を生きぬく児童生徒の育成」

## 合い言葉 「自立・貢献・気品」

合い言葉「自立・貢献・気品」は、ロンドン日本人学校で学ぶ児童生徒のバックボーン（支柱）となる考え方です。

ロンドン日本人学校では、「自立」に向け、課題解決を目指した確かな情報を収集し、的確に読み取り、それらを活用しながら深く思考・判断して、適切に書いたり話したり、プレゼンテーションを行ったりする力をつける取組を進めます。

また、「貢献」の力をつけるために、授業や学校行事、児童会、生徒会等の様々な教育活動の中で、他者の視点に立って物事をとらえ、目標を達成するために周りの仲間と協力して問題の解決にあたる力を育みます。

さらに、今年度から新たに「気品」を加えました。これは、「自立」「貢献」にもつながっていく指針であり、自分とは異なる価値観や概念を持っている人の考えを想像し、場に応じた礼儀正しさ、凛とした姿、凛とした声で伝え合う力です。

ロンドン日本人学校では、これらの力を身に付けた姿を「目指す児童・生徒像」とし、「かしこく・すすんでかかわる・しなやかにたくましく」という言葉でまとめました。

コロナ禍の中で、私たちの社会は大きく変わりました。ロシアのウクライナへの軍事侵攻など、ますます先行き不透明な国際情勢にあっても、子どもたちが怯むことなく、未来への希望を膨らませながら確実な歩みを継続し、やがては新たな世界を担い、創造していく力を培う教育に邁進してまいります。

## 令和4年度の本校の教育活動

英国においては、2月24日より政府からの新型コロナウイルスに関する法的規制が全面的に解除となり、社会的制限が緩和されました。本校においても、昨年度途中から通常の教育活動が実施されているところです。但し、安全・安心の観点から、当分の間、これまでと同様の感染防止措置を取り入れた教育活動を進めます。（日常生活の注意事項や学校行事等留意点につきましては、別途お知らせします。）

・年度当初の授業参観・懇談会・保護者面談は、コロナ禍以前の通常通りに行われます。

・小5自然体験教室：6月17日（金）～6月19日（日）、PGL Liddingtonにて2泊3日で実施予定

・運動会：7月9日（土）、Allianz Stadium 改め StoneX Stadiumにて実施予定

・修学旅行（小6）：6月22日（水）～24日（金）、ウェールズ方面、2泊3日で実施予定

・修学旅行（中2）：6月7日（火）～10日（金）、スコットランド方面、3泊4日で実施予定

・文化祭：10月1日（土）、保護者公開予定

・現地校交流：6月頃より順次実施予定

### 【行事以外の取組】

・「教育用 iPad」…昨年同様、小学部4年生以上の全児童生徒に貸与し、授業や家庭学習等で活用します。この取組は、文部科学省の推進する“GIGA スクール構想”に則ったものです。

・部活動の実施は前期のみとなります。これは、冬季は日照時間に合わせて活動時間が短くなり効率が悪いこと、また、教師の指導力向上に向け、授業準備等の時間を確保するためです。

## 令和4年度 児童生徒数（4月11月現在）

小学部		中学部	
1年	32	1年	28
2年	31	2年	28
3年	29	3年	32
4年	36		
5年	33		
6年	32		
小学部計	194	中学部計	88

## 令和4年度 学校スタッフ 学年担当等

・◇は、令和4年度派遣教師です。

校長：◇佐藤 雅彦 教頭：森下 理香			
	A組担任	B組担任	副担任
小1	森永富二子	◇関根 香里	田中 典子
小2	五味 公人	樋口 友香	田中 典子
小3	林 美佳	春木 明子	安藤佐和子
小4	井上 円	◇山田 宏	床嶋 友実
小5	森田 幸樹	◇和地 恵美	安藤佐和子
小6	渡部 幸子	◇高見 周吾	床嶋 友実
中1	白谷 祐史		
中2	椿 智美		
中3	齋藤 雄一	◇奈良 雅裕	望月 美果
英会話	Elizabeth Munyoki, Monika Swiatek Alessandra Pelissa, Marcus Regan		
養護：五十嵐 文恵 図書館司書：房田 麻実			
事務局長：岡本 和男 事務局：古井 真由美, 高瀬 利恵子, 垣内 麻里			